

# 「(一社)群馬県エクステリア建設業協会 (公益社団法人日本エクステリア建設業協会 群馬県支部) ブロック塀簡易診断講習会」開催

一般社団法人 群馬県エクステリア建設業協会 (GEC IA・山口俊輔会長・(株)高崎松風園 社長) は、4月21日、群馬県高崎市の(株)高崎松風園にて、「実際の現場で使えるようになる」ブロック塀簡易診断講習会を開催。当日は、事務局を含め24名が参加した。

開会にあたり、山口会長が「当協会は、今年で9年目を迎えます。昨年はコロナ禍でなかなか活動ができませんでしたが、今回ブロック塀の簡易診断講習会を開催することができました。当協会員でブロック塀診断士の資格を持っている方も多くいらっしゃると思いますが、実際に診断を行った



山口会長

経験のある方や、自信をもって現場で使える方は少ないという状況です。今日はまず、簡易診断の講習会を行い、また今後、精密診断の実地講習も行いまして、皆さんに実際に現場でブロック塀診断をできるようなっていただきたいと思っております。今日はご来賓として群馬県庁からお越しいただきました。群馬県でも、住宅の耐震に力を入れていくということ、安心安全な街づくりを形成していく一役を私たちGEC IAも担い、今後もスキルアップして地域に貢献できる会社が集まる団体になっていきたいと考えています。今日は一般会員と賛助会員のメーカー様から、また、



講師のマチダコーポレーション 本田氏



屋外スペースで、お互いの距離を取った上で、座学を行う

これから入会を検討いただいているオブザーバーの方々にもご参加いただいております。皆様力を合わせて、群馬県のエクステリア業界を盛り上げていただきたいと思います。講習会を振り返ると、挨拶を行った後、「講習会を紹介した。今回の講師は、マチダコーポレーション (株) マーケティング本部 副部長・R&Dセンター長の本田隆氏が務めた。本田氏は、「群馬県は地場産業として長くブロックを製造・販売してきましたので、

たくさんブロック塀があります。まずは通学路を中心に、簡易診断で少しでも多く迅速に診断を進めていきたいと考えております。簡易診断は数多く検査できますが、絶対大丈夫だと判定できるものではないということはご理解いただきたいと思っております」と述べ、座学としてコンクリートブロック関連資格とブロック塀に関する法令の紹介や、危険なブロック塀の例、ブロック



鉄筋探査機でブロック塀の配筋状況を確認



診断の結果を確認。細かな判断によって数値に開きが出る

塀の簡易診断カルテ等について30分間の説明を行った。休憩を挟んで、高崎松風園敷地内にある40年以上前のブロック塀を鉄筋探査機を使って、受講者各々が、GEC IA作成の『ブロック塀簡易診断カルテ』とオーセブン(株)アプリ『5分でわかる「ブロック塀耐震診断」ツール』による診断判定を行い、本田氏の解説と照らし合わせた。最後に山口会長が、5月26日夕方から開催する第9回GEC IA総会と、同日に第2部として行う講演会への参加、GEC IAの入会を案内して終了した。